



press release

2019 年 2 月 22 日

朝日新聞

朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

〈報道関係のみなさま〉

朝日新聞デジタルにて IAS との協業による新ビューアブル課金広告メニューをリリース

株式会社朝日新聞社(代表取締役社長:渡辺雅隆)は、新ビューアブル課金広告メニュー「朝日新聞デジタル IASブランドセーフ・ビューアブル純広告」をリリースいたします。Integral Ad Science社(日本オフィス:東京都千代田区、代表取締役社長:藤中太郎、以下 IAS)の協力を得て開発した本メニューは、ビューアブルなインプレッション※のみに課金し、ブランドセーフティと不正インプレッションの排除を実現した純広告メニューです。近年ますます高まるビューアビリティやブランドセーフティ、アドフraud対策といったニーズに応える高品質な広告商品としてご活用いただけます。

◆基準を満たしたインプレッションだけが課金対象となるビューアブル課金

広告掲載後、IASのアドベリフィケーション技術を活用し、基準を満たすビューアブルなインプレッションのみを抽出し、請求金額が確定します。基準を満たしたインプレッションだけが課金対象となり、基準値以下のインプレッションには広告費が発生しません。また、広告配信時にはIAS基準により、ブランド毀損のリスクが高いページや不正インプレッションを除外するため、広告予算を高品質なインプレッションのみに投下することが可能です。

◆「朝日新聞デジタルIASブランドセーフ・ビューアブル純広告」メニュー詳細

掲載媒体	朝日新聞デジタル
掲載場所	①PCトップビルボード ②PCトップページ 1stダブルサイズレクタングル ③PCトップページ 1stレクタングル ④PCニュース 1stレクタングル/記事中レクタングル
サイズ (pix.)	①970×250 ②300×600 ③④300×250
プラットフォーム	Google Ad Manager 配信
ビューアビリティ (IAS基準)	100%(掲載後のレポートの数値からご請求金額を計算いたします)
ブランドセーフティ (IAS基準)	アダルト、アルコール、ドラッグ、不正ダウンロード、ヘイトスピーチ、不快な表現、暴力が含まれるリスクの高いページを除外
不正インプレッション (IAS基準)	除外
imp単価 (Gross)	①6.0円 ②5.0円 ③4.0円 ④3.5円

※ビューアブルなインプレッションとは、MRC(Media Rating Council: メディア調査会社の監査や認定審査を行なう米国の業界団体)が定める基準に基づいた、“広告ピクセルの50%が、スクリーンに1秒以上(動画の場合は2秒以上)表示された、広告インプレッション”を指します。